

# 名古屋商工会議所 産学連携クリーンテック技術展

---

**ENECHANGE**

ENECHANGE株式会社

2021/2/25

# ENECHANGE

CHANGING ENERGY FOR A BETTER WORLD

会社案内



ENECHANGE株式会社

Mission-ミッション

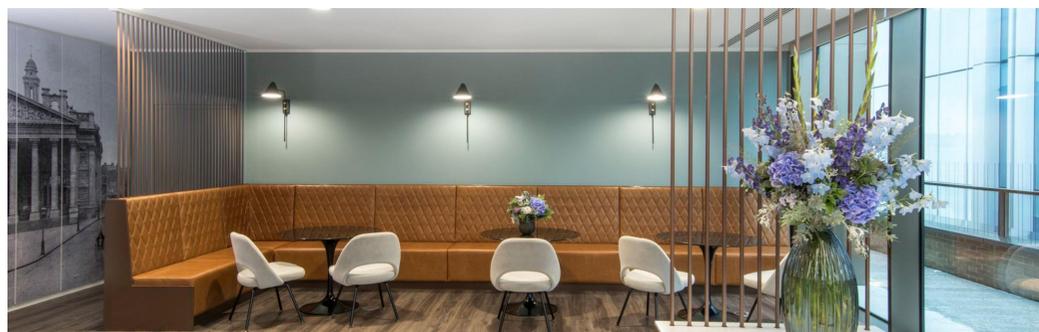
**CHANGING ENERGY**  
**FOR A BETTER WORLD**  
エネルギーの未来をつくる

会社名	ENECHANGE株式会社 (証券コード 4169)
会社所在地	〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル 3F
設立	2015年4月
資本金	890,255千円 (2020年11月18日現在)
代表者	代表取締役CEO 城口 洋平 代表取締役COO 有田 一平
事業内容	エネルギープラットフォーム事業 エネルギーデータ事業
従業員数	90名 ※ENECHANGEグループ連結社員数 2020年10月31日時点
子会社	SMAP ENERGY LIMITED (本社：イギリス)

本社オフィス TOKYO

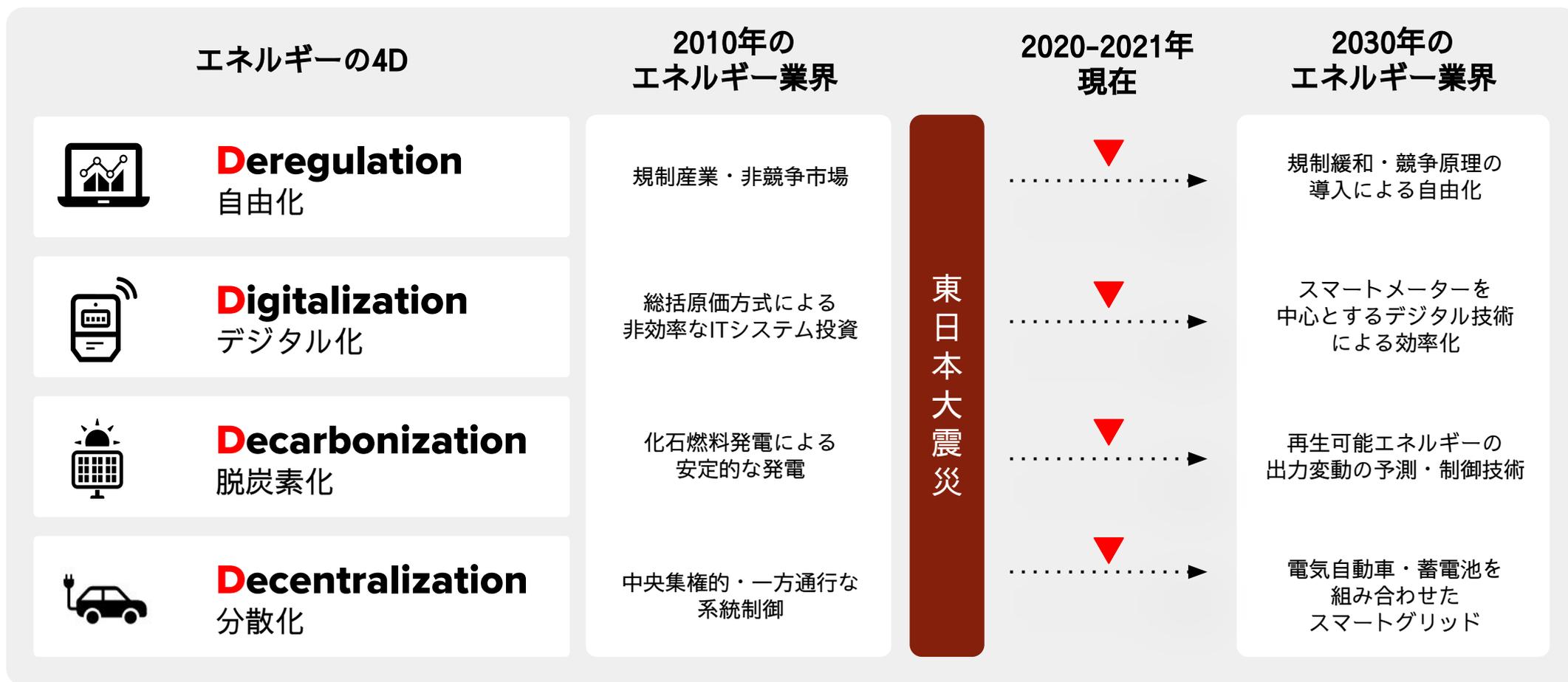


グループ企業 LONDON



東証マザーズ上場日：2020年12月23日  
業種：情報・通信業

ENECHANGEは、イノベーションが求められている「エネルギーの4 D」(①規制緩和・競争原理の導入による自由化、②スマートメーター設置に伴うデジタル化、③再生可能エネルギーの出力変動の予測・制御技術による脱炭素化、④電気自動車・蓄電池を組み合わせたスマートグリッド技術による分散化)という4領域をデジタルトランスフォーメーション( DX)することを目指すエネルギーテック企業です。



日本最大級のプラットフォーム（月間ユニークユーザー数220万人）を通じて、家庭向け・法人向けに電気・ガス契約の最適なマッチングサービスを提供します。価格面での訴求だけではなく、電気・ガスセットでの提供や、「再生可能エネルギー100%の電力プラン」の取り扱いを開始しており、幅広いユーザーのニーズに合わせた事業展開を行っています。



家庭向け  
電力・ガス切替プラットフォーム

法人向け  
電力・ガス切替プラットフォーム

自由化

×

脱炭素化

自由化

×

脱炭素化

「エネルギーの4D」の進行に伴い必要となる新たなITシステムを、エネルギー事業者向けにクラウド型で提供しています。現在は、EMAP（自由化領域で培った電力ビッグデータを活用したマーケティングSaaS）と、SMAP（スマートメーターデータ解析SaaS）、JEF（電力データ解析技術を利用した稼働中の再生可能エネルギー発電所分析・運営管理）の3サービスを展開しています。



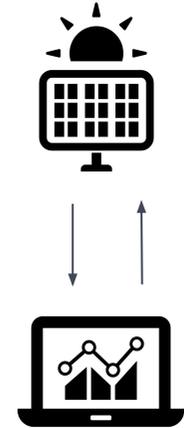
電気・ガス料金診断



電気・ガス申し込み



スマートメーター活用型  
デマンドレスポンス



稼働中の再生エネルギー発電所のデータ分析による運営効率化等

**EMAP**  
エネルギーマーケティングSaaS

デジタル化

×

自由化

**SMAP**  
スマートメーターデータ活用SaaS

デジタル化

×

分散化

**JEF**  
再生エネルギー発電所解析SaaS

デジタル化

×

脱炭素化

# 再生可能エネルギーの普及と 海外VPPサービスの事例

---

**ENECHANGE**

ENECHANGE株式会社

## クリーン・エネルギー技術で脱炭素社会にむかう世界

世界は急速に脱炭素社会に向かっています。日本では菅義偉首相の誕生後の「グリーン成長戦略」の公表、アメリカではバイデン大統領によりパリ協定への正式復帰に向けた手続きに入っています。

2050年の脱炭素化を合意しているイギリス・欧州諸国も含め、世界のエネルギー業界は大きな変革を迫られています。



※1 画像出典：ジョー・バイデン氏（amana）、菅義偉総理大臣（ZUMA Press/amana）、ボリス・ジョンソン首相（c Sipa USA/amana）は、著作権法に基づいて使用しているため無断転載や利用は禁止します

## 2 (1) . 2050年カーボンニュートラルの実現

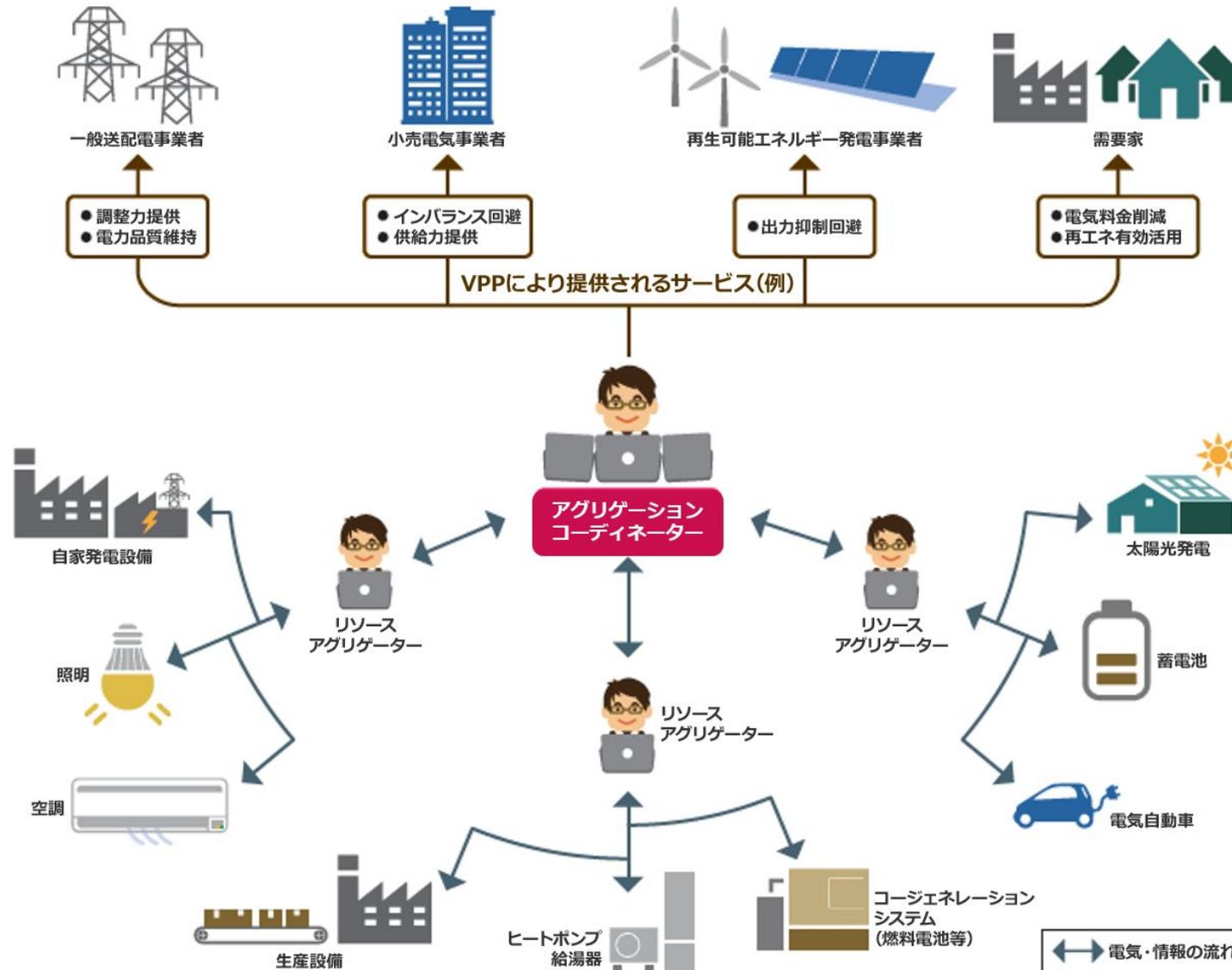
- 電力需要は、産業・運輸・家庭部門の電化によって現状より30～50%増加。(約1.3～1.5兆kWh)  
(熱需要には、水素などの脱炭素燃料、化石燃料からのCO2の回収・再利用も活用)
  - 再エネについては、最大限の導入を図る。
    - ⇒ 調整力・送電容量・慣性力の確保、自然条件や社会制約への対応、コスト低減といった様々な課題に直面
    - ⇒ 全ての電力需要を100%再エネで賄うことは困難と考えることが現実的
    - ⇒ 多様な専門家間の意見を踏まえ、2050年には発電量の約50～60%を再エネで賄うことを、議論を深めて行くに当たっての一つの参考値とし、今後の議論を進める。
- ※世界最大規模の洋上風力を有する英国の意欲的なシナリオでも約65%。
- 米国（日本の26倍の国土、森林率は半分で風力・太陽光のポテンシャルが高い）でも、再エネ55% (ただし2050年80%削減ベース)
- ※災害時の停電リスクの課題を解消できなければ年間約30～40%程度とする試算や、立地制約の観点だけでも、規制緩和を勘案しても50%程度が最大とする試算などが存在。
- CO2回収前提の火力と水素については、依然、開発・実証段階の技術であり、今後の技術・産業の確立状況次第。
    - ⇒ 実行計画により社会実装が順調に進むことを前提として、水素・アンモニア発電10%程度、原子力・CO2回収前提の火力発電30～40%程度を、議論を深めて行くに当たっての参考値とする。
  - 今後、エネルギー基本計画の改訂に向けて、上記に限定せず、更に複数のシナリオ分析を行い、議論を深めていく。

電気は、需給のバランスがくずれてしまうと、周波数に乱れが生じ、発電所の発電機や工場の機器に悪い影響を与え、最悪の場合は大規模停電につながってしまいます。

太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーは、日射量や、風の強弱により発電設備の **出力が変動**します。今後の再生可能エネルギーの普及に合わせて、電気を使う側の **電力需要の抑制(デマンドレスポンス: DR)**が重要になります。



このような状況の中で発電機、冷凍機、空調システム、蓄電池、電気自動車、コジェネシステム、工場の生産時間のシフトなど、需要家側に導入される**分散型のエネルギーリソースの活用(バーチャルパワープラント:VPP)**が求められています。



欧州では、DR及びVPPサービスを提供している会社・サービスが沢山あります。

## 企業

## 詳細

**NEXT**  
KRAFTWERKE  
Next Kraftwerke (独)

欧州大手VPPのひとつ。発電側、需要側の両方をアグリゲートし、7,660の分散型設備を制御。ドイツの4つのTSOと提携。国外での実績の多さが強み。また、単純にソフトウェアを提供するのではなく、VPPを運営する上でのノウハウを提供し支援が可能。

**KiWi POWER**  
demand management  
KiWi Power (英)

法人向けにDRとバッテリーマネジメントのサービスを提供。2009年に創立後、英国市場においてDRのリーディング企業の一つに成長。2018年にENGIEが買収。他社との比較時の優位性は、HWのインストールは無料で初期費用が抑えられる点、及び、10年間の技術開発で築いた技術力(HWも自社開発)。

**e2m energy2market**  
Das Handelshaus für neue Energien  
Energy2market (独)

2009年創業、2012年よりVPPビジネスを開始。太陽光/風力/バイオマス/水力等による4500以上の発電設備をアグリゲートし、(EEX)スポット市場での電力取引、balancing市場へ予備力を提供。オーストリア、ポーランド、イタリア、フィンランドに子会社。

**REstore**  
Restore (ベルギー)

英セントリカが買収。主要事業は自動でDRを行う技術の開発・運用。同社ソフトウェア FlexPondはC&Iの需要家の柔軟性のある分散化設備からアグリゲートした大規模で信頼性の高い仮想発電所(VPP)をエネルギー会社および送電網事業者向けに提供。

**limejump**  
Limejump (英)

Royal Dutch Shellが買収。ポートフォリオはDSR、再エネのフレキシビリティ、従来のPPで構成。アンシラリーサービス、市場で電力取引を行う。世界最大の**バッテリーストレージ**管理事業者のひとつ。2018年に大手が独占していた英国の需給調整市場に参入。

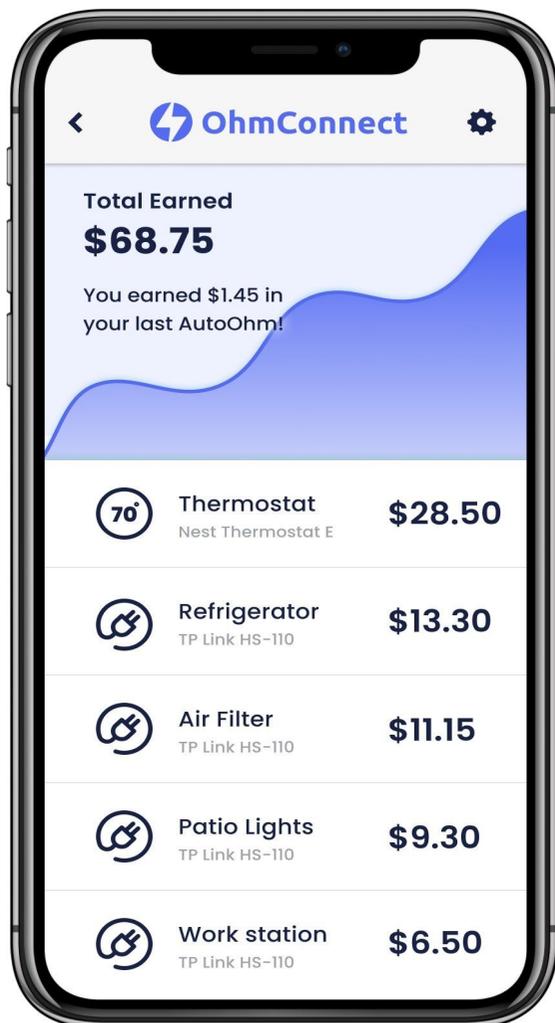
**Flexitricity**  
Flexitricity (英)

コジェネ及び負荷設備(冷蔵、空調など)、非常用発電機等をアグリゲーションすることで、周波数調整、短期予備力等の市場取引を実施。同社システムは、需要家側に設置したオンサイト機器を通じて、発電設備や需要設備の情報をエジンバラに設置された制御室に集約。National Gridからの指示を受けると、DER設備との自動通信し、数分以内の発電開始または電力消費量の削減を指示。

**open energi**  
Open Energi (英)

400拠点にて3500以上のDER(EV、蓄電池、発電設備、C&I)へ接続、フレキシビリティを提供。同社のDynamic Demand 2.0プラットフォームは、AIを使用して、大規模なDERをリアルタイムのデータ処理に強い(1秒間に2万5千メッセージを処理)

OhmConnectという米国の会社は、住宅用の仮想発電所（VPP）ソリューションを提供しています。一般家庭のユーザーが需要のピーク時（主に平日の午後 5時から9時）に電力消費量を減らすと、現金報酬やその他の賞品がもらえます。スマートプラグなどのデバイスとも連携可能で、例えば、冷蔵庫のコンセント部分にスマートプラグを設置して、節電プログラムに参加している場合は、節電が必要な時間に自動的にコンセントを遮断します。OhmConnectは、その削減分を市場に販売して収益化しています。



### Isn't it time your appliances paid YOU?

With OhmConnect, it's possible.



Your appliances could earn you hundreds per year.

 OhmConnect  
Go to [www.ohmconnect.com](http://www.ohmconnect.com) to sign up.

## エネルギー各社は、VPP事業参入に向けての取り組みを加速しています

エナリス・KDDIを中心に様々なエネルギー会社が参画し  
実証実験を行っている

### VPP実証が最終年度へ突入 2021年度需給調整市場参入へ向けた準備を加速化

～ アグリゲーションビジネスが実証から実装へ ～

株式会社エナリス  
KDDI株式会社

エナリスとKDDIは2020年5月29日、経済産業省が実施する「令和2年度 需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント（注1）構築実証事業費補助金/VPPアグリゲーター事業」（補助事業者:一般財団法人環境共創イニシアチブ）（以下 本実証事業）に採択されました。

2020年度は、エナリスとKDDIが2016年度から共同で実施してきた経済産業省「バーチャルパワープラント構築実証事業」の最終年度となり、2021年4月の需給調整市場（注2）参入へ向けて準備を加速していきます。

2020年度は、本実証事業の共通実証として、需給調整市場における三次調整力（注3）制御の成功率向上や上げ下げダイヤモンドリスpons（DR）（注4）の小売電気事業者に及ぼす経済効果の検証を行います。また、独自実証として、家庭用蓄電システムおよび自家発電機による周波数調整制御や、アグリゲート（集約）した再生可能エネルギーと需要家側リソースを連携制御する需給一体調整モデル（注5）の検証など、アグリゲーションビジネスの領域拡大に取り組みます。

本実証事業には昨年度に引き続き、中国電力株式会社、東邦ガス株式会社、京セラ株式会社、株式会社グリムスソーラー、株式会社ナンワエナジー、株式会社スマートテック、三菱重工エンジン&ターボチャージャ株式会社が参加するとともに、新たに、西部ガス株式会社、JXTGエネルギー株式会社、MULユーティリティイノベーション株式会社、株式会社Sassor、JREオペレーションズ株式会社、株式会社レノバ、会津電力株式会社加わり、16社体制で進めていきます。



ドイツのネクストクラフトベルケは  
東芝と新会社を設立しVPP事業を実施予定

世界最大規模のVPP事業者「ネクストクラフトベルケ」と新会社の設立に合意

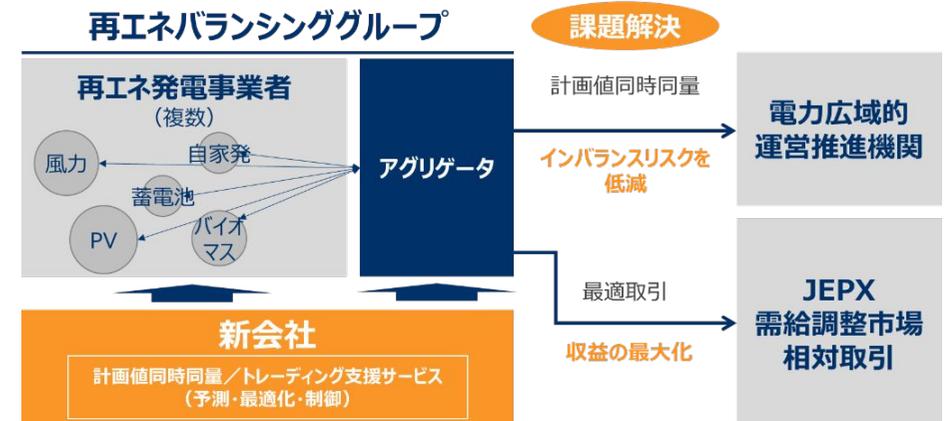
— FIT終了後を見すえたエネルギーリソース運用支援サービスを提供 —

プレスリリース 電力流通 再生可能エネルギー 戦略・施策

2020年11月 4日

東芝エネルギーシステムズ株式会社

当社は、世界最大規模のVPP事業者であるドイツのネクストクラフトベルケ（以下、「ネクスト社」）と新会社「東芝ネクストクラフトベルケ」を設立することに合意し、このたび契約を締結しました。今月中に新会社を設立し、事業を開始する予定です。新会社では、日本国内を中心にバーチャルパワープラント（VPP）技術を活用し、再生可能エネルギー発電事業者や需要家、発電事業者を束ねるアグリゲーター向けに、計画値同時同量<sup>注1</sup>への対応や電力の需給調整市場における最適なトレーディング運用などの支援サービスを提供します。



出典  
株式会社エナリス<https://www.eneres.co.jp/news/release/20200601.html>  
東芝エネルギーシステムズ株式会社[https://www.toshiba-energy.com/info/info2020\\_1104.htm](https://www.toshiba-energy.com/info/info2020_1104.htm)

エネチェンジでは調整力を取引するアグリゲーターと、企業様を仲介するサービス「エネチェンジ DR」を開始します。日本中に眠る未活用のDRリソース(発電機、蓄電池、空調機、冷凍機、工場の生産ラインのシフトなど)を集めて、収益化し企業様に利益を還元するサービスです。

発電機、機械設備保有者向け

デマンドレスポンス サービス

## エネチェンジ DR で

自社の設備を有効活用して  
収益化を実現しませんか？

新たな設備投資は不要！サービス利用費用等一切かかりません

遊休設備を有効活用

エネチェンジ DR

要求に応じた稼働

要求に応じた量に対する報酬をお支払いする

発電機、機械設備を保有されている企業さま

遊休設備を有効活用

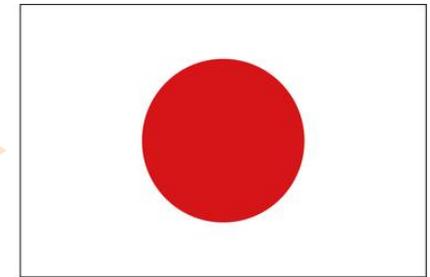
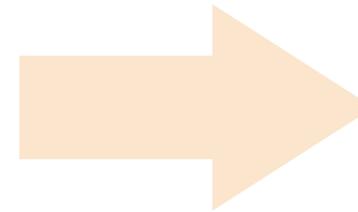
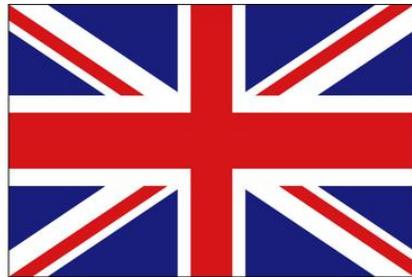
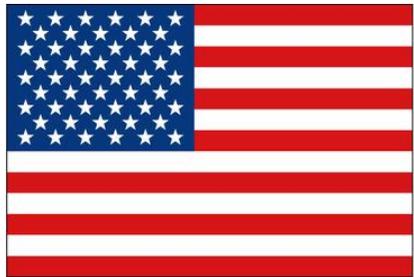
収益も得られる

再エネの活用へ貢献

VPP事業は一つの例ですが、エネルギー分野では

日本よりも欧州、英国、米国(州により異なる)の方が制度改革が5~10年進んでいます。

欧米を参考にしたタイムマシン経営が、日本で新しいエネルギーサービスを成功させる鍵になります



海外エネルギー企業とのイノベーションプログラム  
**ENECHANGE INSIGHT VENTURES**  
エネチェンジ・インサイト ベンチャーズ

---

※2021年よりJapan energy challenge(JEC)は、  
ENECHANGE INSIGHT VENTURESに名称が変更になりました。

**ENECHANGE**

ENECHANGE株式会社

## ENECHANGE INSIGHT VENTURES

ENECHANGE株式会社、SMAP Energy Ltd.(英国子会社)が主催・運営する日本のエネルギー関連企業様と海外エネルギーベンチャー企業をマッチングする「エネルギーイノベーションプログラム」です。

プログラムを通じて海外のエネルギーベンチャー企業・サービスを知り、日本市場向けの提携や、ベンチャー企業への投資を行うことを目的としています。

### スポンサー企業(共催)

Gold Sponsor



Silver Sponsor



Bronze Sponsor



※五十音順

STEP1  
ショートリスト



企業データベース、欧米ネットワークを活用して、海外ベンチャー企業をスカウティングしショートリスト化

STEP2  
企業の採択・分析



ベンチャー企業によるウェビナーでのプレゼンや、弊社からの企業分析レポートの提供を通じて提携の可能性を検討します。

STEP3  
投資・事業提携



ベンチャー企業との1on1MTGによる個別交渉や本大会(オフラインMTG)等を通じて、事業提携や投資の検討を進めます。

JEC2019では欧州メジャーの投資買収案件の動向を分析、JEC2020ではエリアを欧州からグローバルに拡大し、エネルギー業界の投資傾向を分析。加えて、パートナー企業からの紹介プログラムを開始し、優良なベンチャーへのアクセスの範囲が拡大。

## JEC 2019

過去5年間の欧州メジャーによる投資・買収案件を洗い出しデータベース化  
重要度の高いカテゴリ(EV・VPP等)を選定。

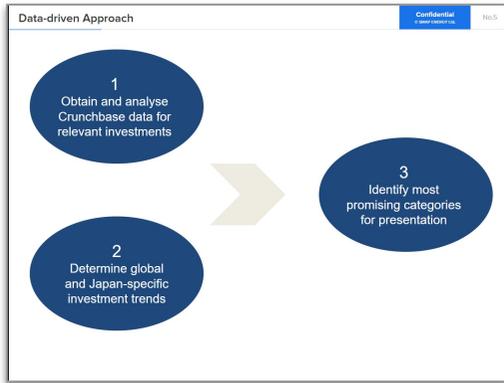
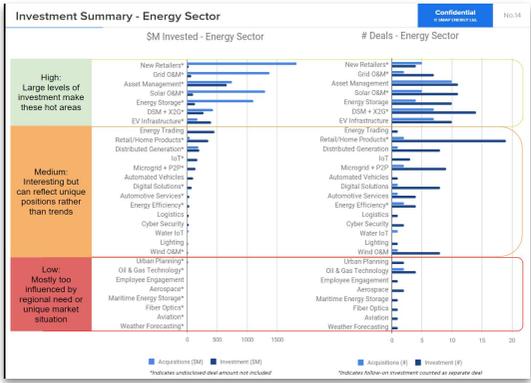


## JEC 2020

過去5年間の「エネルギー」「サステナビリティ」をキーワードに投資案件をCrunchbaseから抽出し、グローバルの投資傾向を分析。成長ステージにあるカテゴリを選定。パートナーからのスタートアップ紹介などJECで得たネットワークを活用し、魅力的なスタートアップ/ベンチャーを発掘。



パートナー企業



2019年はEVやVPPなどを中心に幅広いカテゴリの企業が採択されました

## EV関連



## デマンドレスポンス・VPP



## 蓄エネ



## エネマネ・ソーラー



## マイクログリッド・ブロックチェーン



## アセット マネジメント



## 分散型電源



## 新電力・自動切換え



- VIRTA・・・ENEOS社が出資、また協業の検討も進めています。(2020年4月15日 [プレスリリース](#))
- NEXT KRAFTWERKE・・・東芝が提携。日本に東芝ネクストクラフトベルケ社を設立(2020年11月4日 [プレスリリース](#))
- Heliatek・・・Loop社で実証実験を実施中(2020年10月22日 [プレスリリース](#))
- Octopus Energy(JEC2019ゲスト)・・・戦略的事業提携。東京ガスが英国に200億円規模の会社を設置(2020年12月23日 [プレスリリース](#))

2020年では60社程度まで絞り込んだショートリストから  
スポンサー企業による得点評価を実施し、採択企業を20社選定しました

モビリティ・EV



(アメリカ)  
移動式EV Charger



(イスラエル)  
EV充電プラットフォーム



(ドイツ)  
ペダルアシストEV

DR・VPP・マイクログリッド



(カナダ)  
VPP,DERMSプラットフォーム



(アメリカ)  
DR, VPP, DERMSプラットフォーム



(フランス)  
家庭向け・小規模施設  
DRサービス



(オーストラリア)  
DER統合  
プラットフォーム



(イギリス)  
トレーダー向け  
電力取引ソリューション

蓄電池



(アメリカ)  
産業向け液体金属電池



(アメリカ/日本)  
高密度リチウム  
イオン蓄電池

スマートホーム



(アメリカ)  
現金還元の家庭向け  
DRサービス



(アメリカ)  
家庭向け見える化  
省エネサービス

スマートシティ・スマートグリッド



(イギリス)  
街灯などの屋外照明  
管理ソリューション

スマートビルディング



(イギリス)  
無電源対応の水冷式冷蔵庫



(フランス)  
AI活用産業向け省エネ

脱炭素関連技術・水素



(アメリカ)  
余剰再エネを活用した  
水素生産ソリューション

発電事業者向け  
ソリューション



(アメリカ)  
風力発電専門の自動ドローン・イ  
ンスペクション



(スイス)  
再エネPPA  
プラットフォーム

送配電向け  
ソリューション



(イギリス/フィンランド)  
送配電向けの制御・異常検知プ  
ラットフォーム

電力事業者が取組実績が  
あるその他サービス



(ドイツ)  
大気汚染物質測定  
の環境センサー

2021年は以下のカテゴリを重点的にエネルギー企業をの調査をします

グリーン戦略における14分野		EIV2021のカテゴリ	
エネルギー	① 洋上風力	<b>Offshore Wind</b> [Wind Energy]	洋上風力に関連するO&Mを含めたソリューション
	② アンモニア	<b>Renewable Fuels</b> [Fuel Cell] ( including Hydrogen and Ammonia)	水素や石炭火力の混焼に利用されるアンモニアなどを含めた再生可能な燃料に関するソリューション。 水素に関しては、水素発電、FCトラック、水電解装置なども含む。
	③ 水素		
	④ 原子力	-	-
輸送・製造	⑤ 自動車・蓄電池	<b>Energy Storage and Automotive</b> [Energy Storage, Battery]	蓄電池を含めたエネルギー貯蔵に関するソリューション。スケール化ができる低価格な蓄電池、調整力提供で利用される定置用蓄電池などを含む。自動車については、電動車の普及を加速するようなサービスや車の使い方を変革するようなプロダクトなどを含む。
	⑥ 半導体・情報通信	<b>Information Technologies</b> [ICT, IoT, Big Data, AI/ML, Software Development]	ビッグデータやAI/ML、IoTなどを活用したソリューション。グリーンなデータセンターのためのソリューションも含む。
	⑦ 船舶	-	-
	⑧ 物流	<b>Transportation</b> [Transportation]	スマート交通やグリーン物流に関するソリューション。電動化・自動化された交通やCO2排出の少ない輸送システムやサービスなどを含む。
	⑨ 食料・農林水産	-	-
	⑩ 航空機	-	-
	⑪ カーボンリサイクル	<b>Carbone Recycling</b> [Manufacturing]	CCUSを含めた産業活動におけるカーボンリサイクルに関するソリューション。
家庭・オフィス	⑫ 住宅	<b>Home &amp; Office Building</b> [Home(Smart Home), Energy Management]	エネルギー・マネジメントを含めた住宅やオフィスビルに関するソリューション。EV・蓄電池、エアコン等の最適制御、アグリゲーターや配電事業者による新たなビジネス、ZEH・ZEB、次世代太陽電池も含む。
	⑬ 資源循環(バイオマスなどを活用)	<b>Sustainability</b> [Sustainability] (using biomass)	資源の循環などサステナブルな地域コミュニティに関するソリューション。廃棄物発電・熱利用、バイオガス利用を含む。
	⑭ ライフスタイル(地域の脱炭素ビジネスの推進)	<b>Lifestyle</b> [Environmental Consulting & Engineering]	地域の脱炭素ビジネスを推進するソリューション。住まいや移動のトータルマネジメント、それによるフレキシビリティの確保、行動科学やAIに基づいたエコなライフスタイルの提案、住宅や建物のネットワーク化、ブロックチェーンを用いたJクレジット取引市場の創出、EVやバッテリーのシェアリング、V2Xなども含む。

# ENECHANGE INSIGHT VENTURES

エネチェンジ・インサイト ベンチャーズ

## 提供プログラムについて

---

2021年1月～2021年9月の間に、以下のプログラムを実施。スポンサー様の加入プラン「ベーシック」、「プロ」、「プレミアム」に応じてサービスを提供します。

## 1. 提供する基本プログラム

### 海外ベンチャー企業の 情報提供

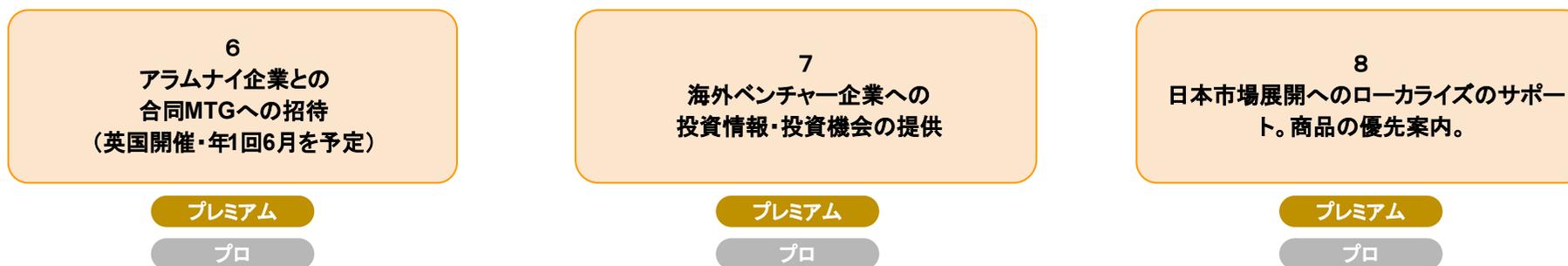


### 海外ベンチャー企業との 交渉の機会



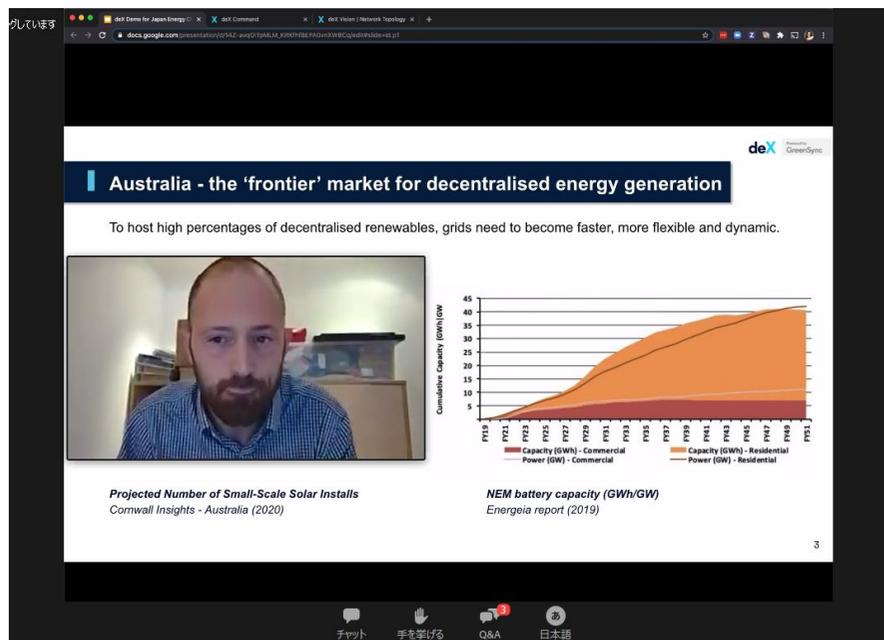
## 2. 事業参入に関するプログラム

### 日本向けの 事業参入機会の提供・サポート

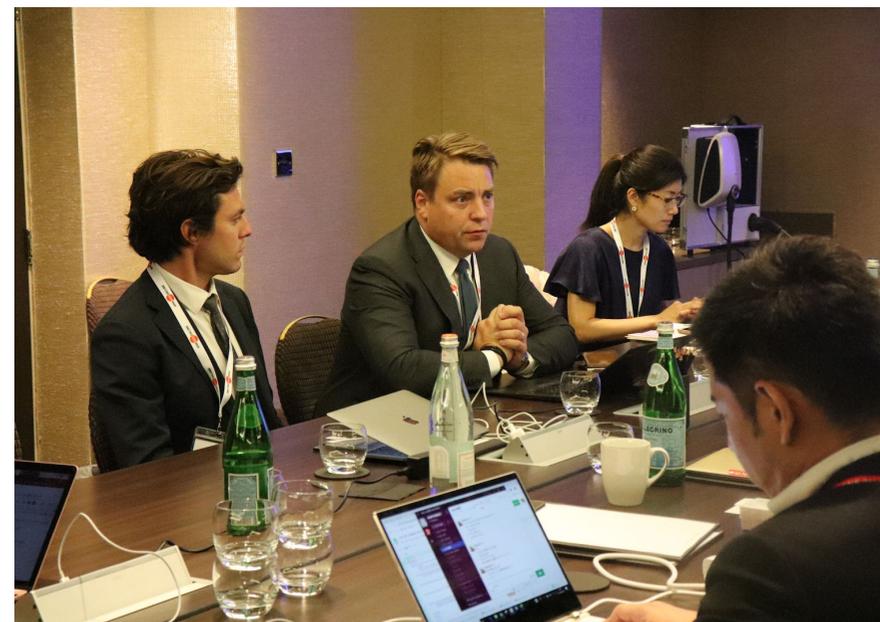


海外ベンチャー企業との情報提供・交渉機会に加えて、実際に日本市場でビジネス展開をする為のサポートや、ENECHANGEが出資する際の情報・出資機会の提供を行います。

## ウェビナー



## 1on1のミーティング



## 半年に1回の合同ミーティング (EIV本大会)



## 企業訪問



※新型コロナウイルスがおちつくまでは、オンラインでの開催になります

## 2021年上期(1月~9月)のプログラムの概要

2021年1-3月

- ベンチャー企業のスクリーニング、ショートリストの作成・提供
- スポンサー企業様による評価
- 海外ベンチャー企業のスカウティング
- ウェビナー実施企業の確定

2021年4-8月

- ウェビナーの実施
- 分析レポートの提供(適宜ご連絡ください)
- オンライン1on1の実施(適宜ご連絡ください)
- アルムナイイベント(オンラインのウェビナーになる可能性があります)
- 海外ベンチャー企業への事前訪問(新型コロナウイルスの状況によります)

2021年9月

- EIV2021上期の本大会を実施(オンラインのウェビナーになる可能性があります)
- EIV2021下期のプログラム開始

2021年9月-  
2022年3月  
EIV2021下期

- ウェビナー、各種プログラムの実施

日付	内容	登壇企業/詳細内容
1/21	ベンチャー企業ウェビナー	Leap (アメリカ)、Gecko Robotics (アメリカ)、Clobotics (アメリカ)
<b>1/28</b>	<b>第1回全体ミーティング</b>	<b>Kick Off Meetingを実施</b>
2/18 15:30~	ベンチャー企業ウェビナー	T-RECs(シンガポール)、Eliq(イギリス)、ev.energy(イギリス)
2/28	スカウティング開始	いただいたフィードバックを元に、ベンチャー企業へスカウティングを開始します。
3/9	ベンチャー企業ウェビナー	JEC2020本大会のアラムナイウェビナーとして提供します。 ※2020年から参加している企業様は、本大会に参加いただけます。 ※2021年から参加した企業様は、アラムナイウェビナーのみ録画提供します。
4月	ベンチャー企業ウェビナー	-
5月	ベンチャー企業ウェビナー	-
6月	ベンチャー企業ウェビナー	-
6月	アラムナイイベント	-
7月	ベンチャー企業ウェビナー	-
8月	ベンチャー企業ウェビナー	-
9月	<b>EIV2021本大会</b>	-

# 契約プラン

---

以下の3つのプランを用意しています。

- ベーシック…プログラムに興味があるので、まずは利用してみたいという企業向け
- プロ …特定の領域(例:EVのみ、DRのみ)について、新規事業開発やサービス検討をしている企業向け
- プレミアム…エネルギー関連全般(発電、送電、小売、サービス、市場取引)の、新規事業開発・投資を検討している企業向け

プラン	ベーシック	プロ	プレミアム
料金 ※1	15万円/月	30万円/月	50万円/月
1.ショートリスト、企業サマリーシートの提供 1.ウェビナー実施企業のリクエスト	×	○ ※ウェビナー実施企業全社	◎ ※ウェビナー実施企業全社 ※ウェビナー実施企業の選定も可能
2.月例ウェビナー参加、プレゼン資料、録画提供 (1ヶ月:2~3社を予定) ※2	○ ※参加5人迄	○ ※参加人数無制限	○ ※参加人数無制限
3.企業分析レポートの提供(英語、日本語) ・2019年プログラムの分析レポートは0.5社として提供します。 ※2019年のレポートは日本語のみとなります。	月1社迄	月2社迄	全社
4.オンラインの1on1MTG機会の提供 ・2019年、2020年プログラム参加企業の情報提供も可能です	×	月2社迄	無制限
5.本大会(日本)への参加(年2回実施予定)	各会2人まで参加可能	各会5人まで参加可能	各会10人まで参加可能 ※招待企業のリクエスト、プログラムの リクエストも可能
5.本大会に合わせたオフライン1on1MTG機会の提供	×	○:5社迄	○:無制限
6.アラムナイMTG(英国)への参加(年1回実施予定)	×	○	◎ ※企業見学などアテンド可能
7.海外ベンチャー企業への投資情報・投資機会の提供	×	○	○
8.日本市場展開へのローカライズのサポート・優先提供	×	○	○
9.プログラムの定期報告(四半期に1度)	×	○	○:代表城口も参加

※1契約期間は原則6ヶ月となります。但し2021年のプログラムは1月~9月を上期としていますので、初回のみ9ヶ月契約となります。(6ヶ月を希望する場合は個別に相談ください)

3ヶ月前迄に解約の申し出がない場合は6ヶ月毎に自動更新となります。プランのアップグレードは契約期間中でも可能です。

公平性を保つために、プログラムの途中から参加した場合は、プログラム開始~参加月までの費用が発生します。ただし、その期間に実施したサービス情報の提供もいたします。

※2ウェビナーの開催数、会社数は月により異なります。本大会を開催する月は実施しない場合もございますが、6ヶ月で12~15社実施する予定です。

## ENECHANGE INSIGHT VENTURESへの参加について

### 1. 申込受付

- a. 期間: 随時
- b. メール・電話等でご連絡ください。契約書の送付などお手続きを進めさせていただきます。
- c. 注意事項: 公平性を保つために、プログラムの途中から参加した場合は、プログラム開始～参加月までの費用も発生します。ただし、その期間に実施したサービス情報の提供もいたします。

→本ウェビナー受講の方には、特別にプログラム参加月からの費用発生とさせていただきます

### 2. 申込受付期間

- a. 期間: 2021年3月31日迄

ご興味のある方は、お問い合わせください

ENECHANGE株式会社  
EIV2021事務局: eiv2021-info@enechange.co.jp



# ENECHANGE

CHANGING ENERGY FOR A BETTER WORLD